

議会報告会質疑応答記録

記録作成：議会基本条例推進委員会

- 開催日時：平成28年11月6日（日）10時00分～12時00分
- 開催場所：町民センター
- 参加者：2名
- 主催者側：議員（14名）、議会事務局（3名）
- 次第 ①挨拶（添田議長）
 - ②平成27年度決算概要報告… 決算審査特別委員長（根岸副議長）
 - ③総務建設経済・教育福祉各常任委員会より重点施策・事業について説明
 - ④上記説明に対する質疑応答
 - ⑤グループ意見交換会… A：二宮町公共施設の将来構想について
B：地域と学校のあり方（A B：合同開催）
 - ⑥まとめ

<議会報告②③に関わる質疑応答>

参加者：後期高齢者のことだけ考えている。高齢者の安心と安全な・・・昔から長寿の町として有名。町民体育祭競技の親子3代リレーに兄が生前出て、非常に喜んでいました。なぜ三代リレーが無くなったのか。二宮の看板（長寿の里）を外したのはなぜか。

小笠原議員：各地区で三代を探すことができない。超高齢化になってしまっていて、人数が揃わない。今年は大見直しをした。今まではリレーも学年ごとだったのが、まことに申し訳ないが時の流れの中で人が集まらないということ。

参加者：下水道事業特別会計について。下水道事業について前回聞いたとき、突如値上げしたと。それでも歳入が目標に達しなかったのか？この事業って見通しがどうなっているのか？なぜ値上げする必要があるのか？

桑原議員：一般会計4億のうち3億は雨水対策、汚水は1億で使用された。一般会計のほうに受益者負担ということで戻さなきゃいけない。それだけお金が足りなくなってきた。値上げは今年の7月からであり、基本料金は1,560円だったのが1,764円になった。下水道審議会では、値上げに対する町民の反応はどうであったか、どういう背景で値上げをしたのか、という話はあったが、値上げに対する反対はなかった。

添田議長：値上げの直接の理由は把握していないが、下水道特別会計は下水道料金だけでは運営できない。その不足分をどうしているかという、一般会計から繰入れしている。下水道に接続していない人たちからすると、一般会計から出ているとなると受益者負担になっていないことになる。一般会計からの繰出しを減らし独立採算に近づけていく。今回あげても受益者負担として100%にならないので、歳入歳出を下水道料金だけで賄うのが最終目標になっている。3億から4億円を一般会計から繰入れしている。値上げしても経費回収率は70.8%にしかならない。

二見議員：下水道アクションプランで合併浄化槽を推進していくことになっている。調整区域は合併浄化槽で対応する予定。

小笠原議員：下水道アクションプランは27年度に業者に864万円で委託している。また酒匂川流域下水道処理事業への負担金もある。非常に下水道は厳しいものがあると思う。

参加者：一色小学校区再生協議会がイメージと違ったなと思っている。小学校とか中学校をどうするのかという問題、それに対してやるのかと思っていた。一色小学校の校舎を利用して地域再生に結びつかないかという話があったように思う。学校をうまく使って教育と共存しながら、ということを考えて1,000万円のお金を使うと。それを他の学校のモデルになると思っていたが進んでいるか。

小笠原議員：友情の山部会。小学校を側面から支える方々で構成されている。コミュニティスクールについて検討する部会にスライドすると言われている。28年度の予算でコミュニティスクールの研究は教育委員会で進めている。地域からも委員が選出されていて、その検討部会に入っている。会議は2回目をこれからやる。コミュニティスクールについては、ぜひ意見交換の場でやらせていただけると嬉しいです。

(以上の質疑応答の後、グループに分かれ意見交換会を開催)